様式第１号（研修費、広聴費）

令和３年４月１６日

蕨市議会議長　様

会派名　日本共産党蕨市議会議員団
氏　名　山脇　紀子　　印

広聴会~~・研修会等（参加）~~実施報告書

次のとおり実施しましたので報告します。

１．会合の名称	市民懇談会
２．主　催　者	日本共産党蕨市議会議員団
３．開　催　日	令和２年１１月１０日（火）１４時　～１６時
４．参加議員名	鈴木智、山脇紀子、宮下奈美
５．内　　容 （目　　的）	市民から市政への要望や意見を聞く

※上記の広聴会・研修等で支出した政務活動費について、全ての領収書またはこれに準ずる書類を添付すること。また、旅行代理店等を通じて手配した旅費、宿泊費等は、その詳細（旅費、宿泊費等の内訳）も添付すること。

2021年度予算への要望について市内団体と懇談

日本共産党市議団

10日、日本共産党市議団は、市内で活動する市民団体や労働組合との懇談会を開催し、新年度予算編成への要望や市政への意見を交流しました。懇談会には社会保障をよくする蕨の会など9団体が出席しました。

冒頭、あいさつに立った鈴木智・党市議団長は、コロナ禍で感染の不安が広がるとともに、市民の暮らしが苦しくなっていることなどにふれ、「暮らしの現状や率直な意見・要望を聞かせていただきたい」と発言。併せて検討中の要望書についても、新たに盛り込んだ新型コロナウイルス対策などを中心に説明しました。

その後、出席者からは様々な意見や要望が出されました。内容としては新型コロナウイルスにかかわるものが多く、○自営業者の状況は深刻で影響の長期化も心配。今年行った国保税などの減免を来年度も継続してほしい○介護施設の経営状況は深刻。頑張っている人たちにこたえるような支援を○コロナに対応する医療を市立病院でも対応してほしい○生活保護を受けざるを得ない人が増えている。ケースワーカーの体制強化を○失業者が急増。労働者を守る対策を、などの発言がありました。また、この間も課題となっていた要望についても発言が相次ぎ、○親が高齢になるにつれ、障がい者入所施設の要望は切実になっている○安心できる年金制度の実現を求めてほしい○災害時の避難所など外国人にもわかりやすい対応を○ジェンダー平等の推進を○県が国保税引き上げにつながる方針を検討しているが市として反対してほしいなど、深刻な実態や率直な思いとともに語られました。

日本共産党市議団では、この日出された意見を検討し、予算要望に反映させるとともに、引き続き、市民や団体との懇談をすすめることにしています。

情報

あらたなメディアとの関わり

コロナ禍の子どものメディア依存と健康被害（下）

「あらたなメディアとの関わり（上）」（民主わらび11月4日号）はICT等の心身への健康被害について等を、問題提起しました。今号の（下）は、スクールGIGA構想について掲載します。

＊　＊　＊

GIGAスクール構想の前倒し

コロナ禍で学校が休校になり、急浮上したのが補填措置としての「オンライン授業」や「ネット配信授業」です。

経済産業省主導のICTによる教育改革「GIGAスクール構想」の前倒しは、全国全ての小・中学校にPCかタブレットを配り、日本の学校教育を根本的に変革しようという構想です。もともと2020～23年の4年がかりで実施される予定でしたが、コロナ対策により補正予算の中に一気に盛り込まれ、学校現場に戸惑いが広がっています。そもそも「GIGAスクール構想」について、現場の先生たちは詳細な情報を知らされていないところに、「コロナ禍」において、いきなりオンライン授業実施、ということになったのですから経験不足は当然のこと、と言えます。